



現在の状況(令和3年9月25日撮影)

# 火災から2年

## ～首里城復元に向けた取組状況～

### 首里城火災から二年

令和元年10月31日の火災により首里城正殿等が焼失してから二年が経過しました。開発建設部では、関係機関と連携し、一日も早い首里城の復元に向け取り組んでいるところです。

また、各方面の分野の有識者や各関係省庁で構成する首里城復元に向けた技術検討委員会及びそのワーキンググループ会議(防災、木材・瓦類、彩色・彫刻、北殿・南殿等)を設置し、復元に向けた議論を行っております。北殿・南殿等ワーキンググループは今年度からの設置となっています。

首里城正殿については、令和4年中には本体工事着手、令和8年までの復元を目指し、事業に取り組んでいます。以下、火災から二年目の取組状況をご紹介します。

### 首里城復元に向けた技術検討委員会での検討状況について

高良倉古琉球大学名誉教授を委員長とする10名の有識者を委員、各関係省庁及び沖縄県の職員11名を協力委員とする「首里城復元に向けた技術検討委員会」は、これまでに委員会を8回、ワーキンググループ会議を18回開催し、復元に向けた技術的な検討を行っています。

#### ○木材・瓦類関係

首里城正殿に使用する大径材について、象徴的な部材である向拝柱と小屋

丸太梁については、それぞれイヌマキとオキナワウラジロガシを、それ以外の箇所には原則として国産ヒノキを使用することが昨年度に決定されました。使用する大径材のうち、寄付者(来訪者)の目につきやすい「象徴部」である部材(向拝柱、小屋丸太梁含む)については、沖縄県が寄付金を活用し調達します。

沖縄総合事務局で調達する分の大径材については、今年度、調達の契約を行いました。

また、首里城正殿に使用する赤瓦について、仕様の方針が決まり、焼け残った破損瓦をシャモット(瓦を粉砕したもの)として配合し、再利用することになりました。

#### ○防災関係

首里城正殿に設置される消防設備について、可能な限り歴史的な空間の雰囲気が損なわれないよう、機器のデザインや配置の検討を行っています。また、沖縄県と連携した防災・防火設備の具体の運用体制、防災センター機能の再編については、復元工事中を含めた検討を行っています。

#### ○彩色・彫刻関係

石彫刻等の装飾物の往時の材質や形態、配置等について、古文書や古写真、発掘調査報告等の資料をもとに、詳細な検証を進めているところです。さらに、1887年にフランス海軍の軍人によって撮影された首里城正殿等の最古の写真が見つかりました。この写真も含め、今後も彩色・彫刻について仕様

等の検討を進めていきます。

## ○北殿・南殿等関係

「首里城正殿等の復元に向けた工程表」に基づき、正殿以外の北殿・南殿等の復元について、令和8年以降の工事着手を見据え、今年度より、本格的な検討に着手しました。

沖縄県とも連携して、機能・用途の必要な見直しや、復元方針等の検討を行っていきます。

## 復元の様子を段階的に公開

### ○奉神門の応急復旧完了

首里城有料区域の入り口となる奉神門は、火災により屋根の一部が焼失していましたが、令和3年6月に応急復旧が完了しました。



奉神門 応急復旧前



奉神門 応急復旧後

### ○大龍柱の補修完了

火災により損傷を受けた大龍柱は、下之御庭に設置した仮設補修作業場へ移され、補修作業が行われておりました。補修作業は令和2年11月に完了しました。補修された大龍柱は、新たに制作する大龍柱の見本として活用する予定ですが、それまでは仮設補修作業

場で展示されます。



大龍柱の補修作業の様子



大龍柱(吽形)の展示の様子

### ○御庭の磚瓦撤去

首里城正殿前の御庭について、今後、御庭は工事ヤードとして整備していくため、敷かれている磚瓦を撤去しました。撤去された磚瓦のうち状態の良いものは保管され、復元される御庭で再利用されます。



磚瓦撤去作業の様子



磚瓦撤去後の御庭

### ○見学通路の切り替え

首里城正殿復元に使用する木材を保管する木材倉庫等の整備に先立ち、来園者用の仮設見学デッキを整備する工事に着手しました。スロープデッキとなっているので、バリアフリーの移

動が可能です。



見学通路等イメージ  
※詳細は現在調整中。

## 沖縄県首里城復興基金の活用について

沖縄県や那覇市などには、一日も早い首里城の復興を願う国外を含め県内外から多くの寄付金が寄せられています。沖縄県は、昨年の3月に沖縄県首里城復興基金を設置し、寄せられた寄付金を首里城火災からの復興を目的とする費用の財源に充てることとしています。

沖縄総合事務局と沖縄県は昨年、寄付金を正殿復元工事に用いる大径材や赤瓦の調達に充てるとした覚書を締結しました。今年度は、大径材の他に小径材及び造作材の追加、赤瓦の他に磚瓦及び雲形飾瓦を追加し、さらに新たに、大龍柱や唐破風妻飾、龍頭棟飾、御

## 沖縄県が調達する制作物等

差床などの制作物の調達に寄付金を充てるとした覚書を締結しました。

